

タカラバイオ株式会社 第 23 回定時株主総会 質疑応答の概要

役員体制をはじめ、中期経営計画、今後の方向性や方針について聞きたい。

- 2024 年度は、「長期経営構想 2025」および「中期経営計画 2025」の最終年度であり、次期 2026 年度に向けて新たな長期経営構想および中期経営計画を整える重要なタイミングと考えている。
- 残念ながら、足元の中期経営計画の数値目標は未達となる見込みだが、長期経営構想の6年間においては、計画以上の売上高と営業利益を達成しており、中期経営計画で定めた事業計画、投資計画も計画通り進めてきた。今後、事業環境が急激に変化していく中で、中期経営計画に定めた方向へ、スピード感をもって進めていくために、今回ご提案申しあげた取締役の体制で経営を推進していく考えである。
- 取締役の構成についても、従来の方向性を含みながら、スピード感を持てる体制に必要な候補を、指名・報酬委員会で審議し、その提言を受け、取締役会で決定している。取締役の構成の中でジェンダーといった多様性については、現在の取締役会の構成において既に社外取締役として女性を登用しているが、執行役員についても女性の登用を推進していく考えである。

以上